

同友ひろしま

No. 514

2025.5.20



発行

一般社団法人
広島県中小企業家同友会

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ8F
TEL (082) 241-6006 FAX (082) 241-6007
E-mail: info@hiroshima.doyu.jp

編集責任者・広報部長 小谷 伸子



広島同友会ホームページ



合同入社式広島会場 記念講演 勘田泰邦氏（広島中支部）

P2・合同入社式広島会場記念講演「切り拓け 君の未来を」
(有)シンワ技術 勘田泰邦氏（広島中支部）

P3・新入社員研修 開催

P4・人を生かす経営実践塾「インターンシップ受入体験報告」

P5・尾道支部例会「働く上での本当の喜びとは？」

(特非) シネマ尾道 河本清順氏（尾道支部）

P6・呉支部総会「誰が為に～事業承継の先に見つけた人生の道標～」

富田肥料(株) 富田文平氏（呉支部）

P7・広島北支部・三原支部・連協青年部総会 開催

P8・政策委員会 広島銀行懇談会「経営者保証について」

P9・新会員のご紹介/県理事会報告

P10・同友エコ大賞受賞！ユダ木工(株)/ZEBゲストハウス (株)プレゼントデザイン/ベスト15

【今年度のスローガン】

Human First!

～新時代へ挑戦～

5月1日現在の会員数 3,005名

広島エリア合同入社式 記念講演

「切り拓け！君の未来を」

報告者 (株)シンワ技術 代表取締役 勸田 泰邦 氏（広島中支部）

4月1日広島エリア合同入社式が開催され、27社49名の新入社員の皆さんに参加いただきました。

第二部の記念講演では、(株)シンワ技術 代表取締役 勸田泰邦氏に、「切り拓け！君の未来を」と題してご講演をいただきました。以下に講演の様子をお伝えします。



勸田 泰邦 氏

■「仕事ができる」とは何か

私は、大学卒業後、生命保険会社で5年半勤務しました。広島でスタッフ職を経験し、大阪で人事として新卒の採用を担当、東京では営業など様々な場所で経験を積ませていただきました。2013年10月より、父の会社であったシンワ技術へ入社、事業承継し、今に至ります。

皆さんは働くことに対してよいイメージとわるいイメージのどちらを持っていますか。この答えに正解はありませんが、私は働くことを通じてどのような考えを持っているかが大事だと考えています。仕事ができる人はカッコいいし美しいと感じます。そのために日々頑張っています。私は、仕事ができるとは「自分の仕事ができる」ことと考えています。そして、「自分の仕事」＝「与えられた・任された仕事＋ α 」だと考えています。

■入社当初の気持ち

入社式で聞いた、仕事のできない部下の話を知っています。「とても仕事のできない部下がいて、仕方がないので毎日缶コーヒーを買いに行かされた。するといつの間にか、その部下は自分にとって欠かせない存在になっていた」と話をした方がいました。それを聞いた私は、“こんな人の元では働きたくない、できない部下みたいにはなりたくない”という気持ちが沸き起こりました。同時に、まずい会社に入社してしまったのでは…という不安も浮かび上がりました。

■ホッチキス留めは面倒な仕事？

はじめの配属先の支社では、セールスパークソンの業績管理、営業支援の施策、成績のいいセールスパークソンの方のニュース記事の作成。営業の同行、電話や掃

除、雑務など担当していました。

毎朝、全国の1,000社以上ある営業所の業績状況表を印刷し、ホッチキス止めする仕事がありました。少しでもずれているとやり直します。面倒に感じ、資料なんて見られればいいじゃないかと思っていました。

■東大出身の同期 出木杉君と自分の＋ α

当時、東大出身の同期がいました。彼はエクセルを使いこなし、要点をまとめた完璧な資料をつくりまします。すぐに社内評価に差もつき、仕事のできる出木杉君と仕事のできないび太君のような状態でした。仕事ができるに加えて優しい出木杉君に手を差し伸べられては、できない自分に打ちひしがれました。

そんな中、電話で普段の大きな声が出せない日がありました。電話の相手は、歳の近い所長で、「声が小さいな。君の大きな声が聞きたくて電話しているのに」と返されます。普段から、大きな声で電話に出て自分をPRしていました。自分の仕事を見てくれ、必要としてくれる人がいたことに気づきました。

そこで、入社式の缶コーヒーの話を思い出しました。私は、あの部下と一緒にいたのです。あれほど、こうはなりたくないと思っていた部下の話を、素直に受け入れることができるようになっていました。その瞬間、自分の仕事が少し分かるようになった気がします。



勸田さんの問いかけに手をあげる新入社員の皆さん

「与えられた・任された仕事＋ α 」と考えたとき、与えられた仕事は「電話対応」、＋ α の部分「大きな声で」だと気づきました。そう考えてからは、ホッチキス止めも1時間から5分に短縮。出木杉君にも素直に助けてもらえるようになり、仕事が楽しいと感じるように変化していきました。

■K所長の転勤 垂れ幕事件

社会人3年目、お世話になったK所長が転勤することになりました。その際任されたのが、会社の風習であった「祝・御栄転」の垂れ幕作成です。言われた通りにPCで垂れ幕を作成した後、セールスパークソンの

Tさんから電話がありました。Tさんは激怒しています。「なんだこの垂れ幕は！もっと感謝の気持ちを込めなさい」

感謝の気持ちを込める方法…考えても浮かんでこず、出木杉君に聞いてみると、手書きというアドバイスをくれました。私はとても字が汚かったのですが、物は試しとすぐに取り掛かりました。

出来上がった手書きの垂れ幕を見て、Tさんは一言、「味があって素敵じゃない」と言いました。K所長からは、「字めっちゃ汚いな！」と誉め言葉をいただき、転勤当日まで机にかけてくれていました。

この時の与えられた仕事を「幕作り」とすると+αで必要だったのは「感謝の気持ち」でした。

■自分にできる+αを積み重ねる

皆さんの会社が即戦力を求めるなら、きっと中途採用をしていることでしょう。仕事が事務的であると誰でも取って代わられてしまいます。仕事をする上で、自



分にできる+αをたくさん見つけてほしいと思います。

小さな積み重ねで、一年後自分にパワーがついていることを実感できると思います。

コツコツ継続していくには、自分の時間を大切にすること、この人に付いていきたいと思えるような目標となる人を見つけることです。社会に出ると、様々な出会いがあります。

■中小企業で働くことは

中小企業は日本経済の大部分を支えています。今や全国で336万社、3,309万人が中小企業に携わっているといわれています。虎よりも小さく弱い猫が地球上で繁栄を遂げているように、会社に強さや大きさは関係ありません。

安心して、思い切り、コツコツと頑張っていきましょう。経営者はあなたの頑張り「+α」を必ず見ています。
(記：事務局 保田)

<会社概要> (有)シンワ技術

設立：1989年5月 資本金：300万円 従業員数：11名
事業内容：PC橋梁の設計・構造計算・図面作成およびコンクリート構造物の補修設計

新入社員研修～県内3会場56社115名で開催 研修生とスタッフの「共育ち」

4月1日または2日から3日にかけて、新入社員研修が広島（20社61名）、福山（21社28名）、呉（15社26名）の3会場で開催されました。

同友会の新入社員研修は、参加企業と求人社員教育委員会が実行委員会を立ち上げ、共同して研修をつくります。当日も経営者がスタッフとして、自社・他社の新入社員を問わず全力で関わるのが特徴です。今回は呉会場の様子を紹介します。



呉会場は、呉と東広島の支部合同で、4月1日～3日、ビューポートくれにて開催されました。

研修は「グループ活動」と「委員会活動」を軸に進められます。グループ活動と委員会活動は、織物のタテ糸とヨコ糸のように交差して参加者全員が個性を発揮しながら一体となるためのものです。特に「委員会活動」は、リーダー、研修、時間、あいさつ、フレンドマナーのいずれかに全員が所属し、それぞれの役割と責任を果たし、研修を成功させる仕組みです。最初は試行錯誤ですが、時間を経るごとに各委員会が自主的に動き、委員会同士の交流も生まれ一体感が出てきます。

また、経営者の講義からは「働く意味」「幸せとは」「生きる目的」「夢・目標を持つ」ことをグループ討論で深めました。

スタッフとして関わる会員も真剣です。基本スタンスは、「相談には気軽に応じるが、簡単に結論を与えるのではなく、社員さんが自分で考える援助に留める」。温かく見守ることの大事さ、そして、難しさを学びます。何よりこの研修中に成長していく新入社員さんの姿を間近で見ることが、スタッフの醍醐味でもあるのです。

最後のカリキュラム「将来設計を考える」では、自分を知ること、目標を持つことの大事さを学び、これからどう生きていきたいかを考える大事な時間となりました。
(記：事務局 木下)

人を生かす経営実践塾（Jobway2026 & ジョブケン）オープン勉強会（4/24開催）【求人社員共育委員会】

インターンシップは未来への投資

～企業と学生が共に成長するために～

広島県中小企業家同友会では、「人を生かす経営」の実践を目指し、採用や社員教育に関する学びを深める「人を生かす経営実践塾（Jobway & ジョブケン）」を開催しています。この度、4月24日にオープン勉強会として「インターンシップ体験談」を開催しました。

まだこの取り組みに参加されていない方へ向けて、勉強会の内容の一部をご紹介します。

■なぜ今、インターンシップが重要なのか？

インターンシップと聞いて、どのようなイメージをお持ちでしょうか。「採用につながらなければ意味がない」、「現場の負担が大きい」、「中小企業には関係ない」。

もしそうお考えなら、非常にもったいない「思い込み」と言えるでしょう。今回の勉強会では、インターンシップが企業・社員・地域を活性化させる新たな視点と、具体的な効果が共有されました。

少子高齢化、若者の地域離れ。そして、社会や働くことへの理解が浅いままで就職活動に臨む学生たち。こうした現代において、インターンシップは単なる職業体験を超えた価値を持ちます。

企業にとっては「社員教育」「組織活性化」の機会となり、学生にとっては「社会を知り、自らのキャリアを深く考える」貴重な場となり得えます。以下、二社の体験談の概要をお伝えします。

【体験談1：河崎運輸機工機】

代表取締役専務 原 真 氏

「総務の仕事」から「全社ごと」への変革



原 真 氏

以前は「総務の仕事」として形式的に行っていたインターンシップ。同友会の学びをきっかけに、「経営者・社員全員で関わる」方針へ転換。当初は現場の戸惑いもありましたが、「自分たちの仕事の意義を学生に伝える」という

目的を共有し、時には豪華なお弁当作戦も功を奏し、社員が主体的に関わるようになりました。

結果、社員が自社の役割を再認識し、部門間の連携が深まるなど、採用活動を超えた効果を実感。「インターンシップは社員と会社が共に成長する機会」と原氏は力強く語ります。

【体験談2：テクノス三原株】

経営管理室 課長 和田 直樹 氏

学生目線で「伝わる」工夫と地域への熱い思い

BtoB企業であるテクノス三原では、「非破壊検査」という専門的な仕事を、ハンバーガーや自動車といった身近な事例と結びつけ「社会の中で自社がどんな役割を果たしているか」という広い視点で伝えることを重視しています。

学生からの「なぜこの会社で働いているのですか」という素朴な疑問は、社員が自らの働く意味を見つめ直す絶好の機会となります。和田氏は「インターンシップは、企業にとっても学びの時間。地域に若者を残すための大切な取り組みでもある」と強調します。

■インターンシップは「共に育つ（共育）」の場

さあ、「未来への投資」を始めませんか？

二社の体験談が示すのは、インターンシップが「教える」だけでなく「共に育つ（共育）」場であるという事実です。学生に分かりやすく伝えようと工夫する中で、社員は自社の仕事の価値を再発見し、誇りを取り戻します。

学生からの新鮮な視点は、業務改善のヒントとなり、結果として社員の定着率向上や生産性向上にもつながるのです。

インターンシップは採用のためだけでなく、社員が輝き、組織が活性化し、地域社会の未来をも支える活動です。「負担が大きい」と感じるかもしれませんが、全社で工夫すれば、その投資は必ず大きなリターンとなるはずです。まずは「やってみよう」という気持ちで、未来への投資であるインターンシップをぜひご検討ください。

「人を生かす経営実践塾（Jobway & ジョブケン）」では、インターンシップや採用力向上に関する学びを継続しています。ご興味のある方は同友会事務局へお問い合わせいただき、共に学び、会社を成長させていきましょう。

（記：事務局 児玉）

尾道支部4月例会（4/15開催）

「働く上での本当の喜びとは？」

報告者：NPO法人シネマ尾道 代表理事 河本 清順 氏（尾道支部）

当日は河本氏の報告の後、座長に山根氏（㈲いっとく 取締役会長、尾道副支部長）を迎え、パネルディスカッションが行われました。以下に報告の概要をご紹介します。

■「映画の街」なのに

かつて映画館が20館以上あった尾道で、最後の1館だった「シネマ尾道」は2001年に閉館しました。尾道に戻った私は、実家の飲食店を手伝う中で「なぜ映画の街に映画館がないのか」という声を聞くたびに悔しさを覚えました。その感情がやがて、「この街に映画館を取り戻したい」という使命感に変わっていきました。映画業界の知識も経験ありませんでしたが、全国のミニシアターを訪ね歩き、埼玉県深谷市の「深谷シネマ」との出会いが大きな転機となりました。地域の人々が支えるその姿に、「自分がやらなければ」と心が決まりました。

■「尾道の映画館は“希望”」

尾道での映画館再生は困難の連続でした。空き店舗などで自主上映会を重ね、信頼を得てようやく物件を借りることができました。寄付を募って館内を改装し、2008年にオープン。しかし開館後も5～6年は赤字続きで、「人口30万人未満では経営は厳しい」という言葉を痛感する日々でした。

さらに大きな試練がやってきたのは、デジタル化の波です。映写機の導入には1,000万円が必要で、「閉館も仕方ない」と考え始めていたとき、全国の映画関係者から「尾道の映画館は“希望”」と声をかけられました。クラウドファンディングや応援の輪が広がり、危機を乗り越えることができました。そして10年後、再び映写機更新の時期に直面しました。今度は自らNPOとして資金を募り700万円を集めて再び乗り越えました。

■映画館は多様な文化を守る砦

長年続けてこられたのは、「時間の力」「映画業界の仲間意識」「街の力」の3つがあったからです。地元メディアでの発信や、映画人との関係性、そして何より尾道という街の魅力が映画館の存在価値を支えている。近年では観光と映画が結びつき、地域のにぎわいにも貢献していると思います。

シネマ尾道は、単なる映画館ではありません。ミニシアターはメジャー映画では出会えない作品と人を結びつけ、多様な文化を守る砦です。この場所を守ること、私たちは世界とつながっているのです。子ども

たちとの映画制作や尾道映画祭など、地域との関わりも広がっています。

★第2部パネルディスカッション

Q1：尾道の映画館に人が集まる理由は？雇用の現状は？

河本）尾道という土地に惹かれ、映画に関わりたという人が全国から集まってきます。中には移住のきっかけとして映画館で働きたいという人もいます。ただし、人件費の制約もあり、全員を雇えるわけではありません。それでも、映画館が若者の夢の受け皿となっていると実感しています。

Q2：これまでで印象的だった出来事は？

河本）大林監督が新作を持ってくるたびにシネマ尾道を訪れ、喜んでくれたことが何より嬉しかったです。オープンの際には知人を連れてお祝いにも来てくれ、映画館を続けていて本当によかったと思いました。

Q3：経済的には厳しい中で、なぜ続けられるのか？

映画館の“価値”とは？

河本）シネマ尾道を続ける理由は、何よりも「映画が好きだから」。でもそれだけではなく、儲からないからこそやりがいがあり、少しでも利益が出たときの達成感が格別だからです。商売としては白黒はつきりつく世界ではなく、数値には見えない価値に焦点を当てられる——そんな面白さが、映画館経営にはあると感じています。地方で文化を商うことの魅力は、決して小さくありません。黒澤明監督の言葉「映画は社会を覗く窓」のように、ここは社会や人と出会い、学ぶ場でもあります。少子高齢化が進み、地域の未来に不安がある中でも、私たちはあきらめません。映画館、そして映画の力を信じて、これからも尾道の街でその可能性を模索し続けたいと思っています。

(記：事務局 井谷)



コーディネーターの山根氏（左）と報告者の河本氏（右）

呉支部第38回定時総会（4/23開催） 特別企画 報告要旨

「誰が為に～事業承継の先に見つけた人生の道標～」

報告者 富田肥料㈱ 代表取締役 富田 文平 氏（呉市条例振興会議担当理事）

■事業承継の3要素

1950年に創業した弊社は、「農は国の礎」という理念を大切に、肥料製造から始まり、現在は農材事業・商事部・海外事業の3つの柱を持っています。作物が健全に育つには、必要な栄養がすべて揃っていることが重要です。同様に、事業承継も、持ち株50%以上の譲渡、社員・顧客・仕入れ先の円滑な引き継ぎ、土地などの権利の承継という3つの要素が最低限必要です。



富田 文平氏

理想の事業承継は、「誰もが笑顔で船出を祝福してくれること」でした。しかし現実には、その理想とはかけ離れたものでした。

■続く父との衝突

サラリーマン時代、父の背中が小さく見え、後継ぎは自分しかないと感じました。「帰ってきてくれないうか」という父の言葉が決意のきっかけとなり、広島に戻りました。

しかし、入社後すぐに会社の問題が見えてきました。社員の高齢化、資金難、主要顧客の流出などで、このままでは会社は5年も持たないと感じました。営業拡大や新規開拓、キャッシュフロー改善、新規事業立ち上げが必要でしたが、父とは衝突が続きました。

社員を守るために尽力し、採用トラブルも乗り越え、新規事業として保育園や学校向けにビニール手袋やマスク、塩素を販売する事業を始めました。

同友会の先輩会員の助言を受け、事業承継の期限を話し合おうとしましたが、言葉の選び方を誤り、父との関係が決定的に悪化しました。

■漏れていた栄養

2020年に代表に就任しましたが、父との関係は悪化したままで不安を抱えていました。満たされない自分を変えたくて、同友会で学び、積極的に活動した結果、売上は増え、会社は若返り、新規事業も進展し未来が見えてきました。

それでも、父との関係は改善しませんでした。ある夜、大喧嘩になり、「父さんは何を考えて仕事をしているのか分からん」と言ってしまいました。父は「お前の幸せだけ考えている」と言われ、この時、ようやく

くその本音に気づきました。

父と分かり合うために毎週月曜日のミーティングを始めると、ぎこちない会話から続けるうちに父が久しぶりに笑う瞬間がありました。この時、自分は父の笑顔を求めていることに気づいたのです。ようやく本当の意味で事業承継できたことを実感しました。

■理想の事業承継

事業承継後、社員の成長が見られました。過去に飲酒運転で免許を失った社員は努力して信頼を回復し、会社の柱となりました。商事部を担当している社員は、保育園や学校向けの事業を展開し、売上を大きく伸ばしています。

また、新たな経営理念「我々はこの国の礎を支える」を社内で発表した後、ある社員が「共感しました。一緒に誇れる会社にしましょう」と言ってくれました。この言葉に涙し、「誰のために働くか」という問いの答えを見つけました。

父が笑顔でバトンを渡してくれたからこそ、理想の事業承継が実現できたと思います。



報告に聞いている参加者の皆さん

■誰を笑顔にしたいか

父は楽隠居しましたが、その後二度倒れました。回復した今、親子関係を取り戻せたことを嬉しく思います。父の最後の言葉が「やかましい」でなくて良かったです。経営の悩みが生じると、心の中の先代に問いかけます。父が過去に苦勞して会社を立て直そうと必死だったことを今なら理解でき、父との人間関係を諦めなくて良かったと思っています。

「中小企業は血で継ぐ」、近しいからこそ感情が絡みます。事業承継は、単なる数字の継承ではなく、心の通じ合いが大切なのです。皆さんは、誰のために働き、誰の笑顔を見たいですか？ 欠けている笑顔はありませんか？ 誰を笑顔にするべきか、その先に人生の道標があるのです。

(記：事務局 木下)

広島北支部総会（4/23開催）

地域中小企業のコミュニティセンター広島北支部

～みんなで地域になくてはならない企業をめざそう～

4月23日、広島北支部総会・地区総会がひと・まちプラザにて41名の出席で開催されました。総会会場には、前年度に広島北支部に入会された新入会員の皆さんの姿も見られました。

支部総会の冒頭には、村井由香副代表理事より、広島北支部会員に向けた温かい応援のご挨拶をいただきました。2025年度の活動方針では、山仲巖支部長から今期のスローガン「地域中小企業のコミュニティセンター広島北支部～みんなで地域になくてはならない企業をめざそう～」が発表されました。前期の「Conne



2025広島北支部総会

ting 広島北～地域になくてはならない企業をめざして～」から進展して、みんなで学びあい高めあい、盤石な経営基盤を目指し、追求しながら、人が真に繋がり、幸せを実感できる企業、地区会、支部、地域を作ることをめざす新たなスローガンです。

新年度のスタートへの期待が込められた総会となりました。（記：事務局 岡崎）

三原支部総会（4/23開催）

絆栄～繋がりあい高め合おう～

4月23日、三原支部総会が三原国際ホテルにて開催されました。

総会では、鈴木支部長より今年度の方針発表がありました。「新体制になり2年目、昨年度の反省を含め、



基調講演報告者 河本清順氏

今年度はより一層、会員同士の絆を強め、支部としての一体感を高めていきたい」との報告がありました。

基調講演では、

尾道支部 NPO法人シネマ尾道 河本清順氏に「地域と企業が繋がる新しい未来のために～愛される劇場づくりの秘訣～」と題して、報告いただきました。河本氏の地域と映画を繋ぐ取り組みから、「事業への情熱と行動力、人を惹きつけ支えられていく人柄。自分に足りない部分と痛感し、学びになりました」などの感想が寄せられました。

懇親会では、三原市副市長 川野真澄氏、三原臨空商工会会長 増田洋一氏、しまなみ信用金庫常務理事 和木俊二氏、尾道支部の方にもご参加いただき、懇親を深めました。

また、懇親会参加者全員が自社の強み・自慢したいこと・新年度の決意発表を行い、新年度のスタートにふさわしい総会となりました。

（記：事務局 中野）

青年部連絡協議会 第19回定時総会（5/9開催）

[令和7年度スローガン] 知れば、世界が動き出す!!

～2030vision実現に向けて、志動する～

5月9日（金）ホテルグランヴィア広島にて開催しました。参加目標200名を早々に達成し、目標を300名に上方修正。当日は来賓、OB、オブザーバー含め313名が参加しました。

総会では、まず会長の藤岡秀行氏（福山支部）が「今青年部があるのは当たり前ではない。歴史の上に成り立っています。青年部活動を打ち上げ花火で終わらせることなく10年後、この中の10人、いや20人と県理事会で会いましょう」と総括。役員改選承認後、新会長の山根翔也氏（呉支部）が方針を発表。「1年間『知

れば、世界が動き出す!』のスローガンを言い続けます」と宣言しました。

総会後の基調講演では、日新産業㈱

代表取締役社長 橋崎牧人氏（兵庫同友会）の報告に学びました。会場には日新産業㈱の全正社員さんも参加し、橋崎氏が言葉を詰まらせながら「自己開示」。そして同社のビジョンでもある35億円達成を力強く宣言しました。（※報告要旨は6月20日号に掲載予定）

懇親会では栗屋充博代表理事が来賓を代表して青年経営者にエールをおくりました。

（記：事務局 井谷）



壇上が山根新会長

政策委員会 広島銀行との勉強会 (4/28)

「経営者保証に関するガイドライン」の全体像と経営者が知るべきポイント

講師：広島銀行営業企画部法人企画室 担当課長 山根伸也 氏

■示された5つの要件



「経営者保証についてのガイドライン」は法律ではなく拘束力はありません。全国銀行協会と日本商工会議所が協力し2013年12月に発表し、翌年2月から運用が開始されました。

無保証融資には、5つの要件が定められています。

①法人と経営者の資産の明確な分離、②社会通念上適切な資金のやりとり、③法人の収益力、④適切な財務情報の提供、⑤物的担保の提供、これら5つの要件すべてが必要ではありません。いくつかを満たせば、無保証で融資を受けることが可能になります。

■厳格な運用では外せない現実

このガイドラインに沿って金融機関で具体的に取り組むにあたり、Q&Aが準備され「無保証融資の要件の適合状況」として6点の「保証人徴求要件基準」が示されました。①法人と経営者個人の資産・経理が明確に分離されている、②法人と経営者の間の資金のやりとりが、社会通念上適切な範囲を超えない、③前項①②（法人と経営者個人の一体性解消）を確保、維持するガバナンスが構築されている、④法人から適時適切に財務情報等が提供されている、⑤法人のみの資産・収益力で借入返済が可能と判断しえる、⑥経営者等から十分な物的担保の提供がある、です。しかし、この要件を厳格に運用するとほとんどの中小企業は適合しません。

■広島銀行 基本原則の大転換

広島県の現状は人口も企業数も減っています。後継者不在率も全国平均より高い状況です。地域経済が活性化しなければ、地方銀行は存続しません。新たな会社が次々と生まれ、円滑な事業継承が行われ、失敗してもすぐに再挑戦できる地域を築く必要があると認識

し、広島銀行の憲法である「与信基本原則規定」を2022年3月に見直し、これまでの「与信にあたっては、適切に保証人徴求を行わなければならない」から「与信にあたっては、原則、保証人を求めないものとする」と180度方針を大転換しました。

■基準は3点に

そこで、「保証人検討基準」を見直し、①法人と経営者の間の資金のやりとりが、社会通念上適切な範囲を超えている、②法人から適時適切に財務情報等が提供されていない、③法人のみの資産・収益力で借入返済が可能と判断できない、以上3点に絞りました。①～③のいずれにも抵触しなければ、原則徴求しない、①～③のいずれかに抵触すれば、徴求することも検討することとしました。

これにより広島銀行の無保証融資は現在約7割弱となっています。全ての融資を見直ししています。経営者保証がはずれたことを特に問い合わせがない限り個別にお知らせはしていません。ぜひ、ご自身の融資の経営者保証がはずれているか確認してください。もし、はずれていなければ、なぜ、はずれないのか、どうすれば外すことができるのか、率直にお尋ねください。

■広島銀行が期待する経営者の姿勢

今後も原則、経営者保証は求めない方針は継続します。その上で経営者のみなさんに期待する姿勢は、①財務の透明性、②会社をサイフ代わりにしない、③金融機関との信頼関係の構築の3点です。

(記：事務局 源田)

一 実際の事例紹介 ー 融資編 ー

広島銀行の保証人検討基準

保証人徴求の検討基準	主なチェックポイント（具体的な判断基準）	減額 点数（千円）	判定
① 法人と経営者の間の資金のやりとりが、社会通念上適切な範囲を超えている。	(A) 経営者への貸付がある。 (B) 経営者への個人的な支出がある。 (C) 役員報酬が過大である。		(A)～(C)いずれかで「該当」
② 法人から適時適切に財務情報等が提供されていない。	勘定科目明細、金融機関取引状況、試算表等が提供されていない。		
③ 法人のみの資産・収益力で借入返済が可能と判断できない。	(A) (負債) 債務超過 (実態バランスの事業継続ベースまたは公表ベースで算出) (B) キャッシュフローがマイナス (当期利益±特殊損益+減価償却費で算出)		(A)かつ(B)で「該当」

広島銀行保証人検討基準チェックシート

新 会 員 の ご 紹 介

4月支部理事会で承認された皆さんです。

支部名	地区名	会 社 名	会 社 住 所			推せん者名
			役 職	氏 名	概 要	
広島中	中⑨	(株) F. f o u r	代 表 福 井 健 入	広島市南区皆実町1-11-23	小笠原裕人	
	中⑨	シンアイ不動産販売(株)	取 締 役 小 笠 原 彰	広島市東区上温品1-31-11	小笠原裕人	
広島東	安芸	高木デルタ化工(株)	執 行 役 員 大 神 崇 巧	広島市安芸区船越南4-12-2	土屋 武美・寺川 純	
	南①	(株) オウエンタイ	代表取締役 川 内 リョウ	広島市安佐南区大町西1-3-60-5	岡原 勝・中島 博文	
	南①	(株) ク レ ア	代表取締役 野 田 晃 弘	広島市安佐南区古市2-17-10	竹田 智道・竹間 大介	
	南③	(株) K i z u n a	代表取締役 田 中 誠 二	広島市中区堀川町5-7エスエフビル4F	大馬 正人・岡村由布子	
	南④	和 い や	代 表 金 泉 泰 之	広島市中区流川町7-3ゴールド観光ビル1F	吉田 州伸・平井 淳司	
	西	(株) 広島こどものとも社	代表取締役 植 田 友 貴	広島市南区西本浦町7-24	西本進之助	
広島西	西	(株) ピングラフィックス	代表取締役 長 峯 義 和	広島市中区広瀬北町3-11S O @ R ビジネスポート	藤本 勝己	
	安佐北	千瑞穂法律事務所	代表弁護士 守 永 将 大	広島市中区立町2-23野村不動産広島ビル9F	松本 有示	
福山	A	(有) 備後レポート社	代表取締役 二 宮 恵	尾道市新浜2-1-15	岡崎 隆・岡崎 瑞穂	
	A	ライフリンクス(株)	取 締 役 井 上 命 和	福山市神辺町道上692-1	岡崎 隆・岡崎 瑞穂	
	B	(株) 実 政	代表取締役 実 政 情 二	尾道市美ノ郷町三成232-8	齋藤 幸恵・藤原 留衣・吉山 聡	
	B	F L E X	代 表 天 満 雄 志	福山市能島3-23-1	田中 賢治・吉山 聡・馬屋原聖史	
	B	(株) みのりの杜	代表取締役 岡 本 みどり	福山市神辺町新湯野28-7	藤井美代子	
	G	藤 木 塗 装	代 表 藤 木 一 堪	府中市本山町475-1	山崎 大輔・亀井 太雅・山本 将登	
	P	中 国 建 材 (株)	常務取締役 金 只 恵 太郎	福山市駅家町今岡13-1	藤原 亮太	
	呉南	イリゼメンテナンス(株)	代表取締役 中 島 大 介	呉市広名田2-16-8	中下 真二・時岡 俊輔	
呉	呉南	呉二河峡ゴルフセンター	取 締 役 垣 谷 隆 介	呉市焼山松ヶ丘2-1-1	中下 真二・中里 嘉孝	
	東広島東	(有) 総合保険サービス	専務取締役 八 幡 翔 太	東広島市高屋町軒原1328-1	実森 尊信	
東広島	東広島東	(一社) 東広島TFC	代 表 理 事 花 守 慎 太郎	東広島市西条町御園字6866-2	実森 尊信	
			子供とスポーツを行う全ての地域住民に対して陸上競技を通じて普及・育成に関する事業			

第11回県理事会の報告

日時 4月21日 議長 道垣内副代表理事 出席 36名

- 中同協関連
 - 中小企業魅力発信月間キックオフ行事（6月12日 Zoom開催）のご案内。
 - 環境経営・地球環境交流会（6月26日・27日 広島開催）のご案内
 - 女性経営者全国交流会（9月4日・5日 東京）のご案内。
- 外部関連
 - 特別支援学校認定資格研究協議会会員就任依頼 源田専務理事を推薦する事が承認。
 - 山口同友会30周年記念行事（5月22日）へ、立石代表理事が出席、お祝い金1万円を承認。

●報告&討議事項

「広島同友会2024年度決算案、2025年度予算案」について、2024年度収支報告書・貸借対照表、2025年度予算案をもとに説明。質疑応答を受け、その後承認されました。

●組織・燦然増強より

3月末会員数は3017名。増強について、各支部よりの増強目標の未達成の傾向あり。

各支部とも入会率10%、退会率5%を目標にお願いしたい。

●県総会フォーラム実行委員会より

県総会は、参加呼びかけと総会成立に向けた委任状確保をお願い。

経営フォーラム2025に向け、分科会立候補を4月末まで受け付けています。

●憲章条例プロジェクトより

中小企業憲章閣議決定15周年記念行事（6月24日 TKPガ

ーデンシティ広島）を企画。

中国経済産業局より担当者を招き、「ローカル・ゼブラ企業」に焦点をあて深めていく。

●経営労働委員会より

2024年度経営指針塾は23名が修了。

新年度5月には各支部エリアで基礎講座がスタートします。

●求人社員教育委員会より

Jobway2026、ジョブケンが企画する勉強会の企画が報告されました。

●環境経営委員会より

DOYU-ECO大賞（中同協会賞）にユダ木工(株)が選出されました。

県理事会で環境経営SDG'sカードゲームの開催を依頼します。

●地域内連携推進委員会より

福山で7月12日に、広島では9月16日に企業展示会を開催予定です。

●青年部連絡協議会より

青年部連絡協議会総会を5月9日開催予定、中国ブロック交流会を9月27日に岡山で開催予定。

●女性部連絡協議会より

女性部50周年記念誌が完成しました。

（記：事務局 川口）

訃 報

広島東支部 安芸地区会会員 岡崎磊造 様(有)おか半 代表取締役)がご逝去されました。

氏は1996年入会。支部理事（安芸地区会長、経営労働委員長）、県理事（経営労働委員長、政策委員長、副代表理事）を歴任されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ちよつとした話

ユダ木工(株)

同友ECO2024-2025の大賞に

中同協環境経営委員会は、4月8日、同友ECO2024-2025の最終審査を行いました。結果、ユダ木工(株)（湯田卓氏、広島西支部）が大賞（会長賞）に選ばれました。

今回の同友ECOには過去最多の36同友会から2005社の応募がありました。まずはチェック項目から取り組みを得点化。上位150社を東北工業大学教授・山田一裕氏、京都工芸繊維大学元教授・芝池英樹氏が精査して68社に絞り込みました。その一覧をもとに審査に参加した中同協委員が投票、最多票を獲得しました。22年の委員長賞・外部審査員賞につづく快挙です。

同夜に行った県環境経営委員会でこのことが伝えられると氏は、「得点そのものは高くなかったので、驚いています。6月の交流会の分科会報告もあり、かなりのプレッシャーを感じます。今後でもできることを実直に積み重ねていきたい」と語りました。



湯田 卓氏

広島同友会からは、他に(株)コアブリッジ（坂口公彦氏・飛谷暁儀氏 尾道支部）が環境経営委員長賞、イシケン(株)（石川倫之氏 福山支部）が奨励賞に選ばれました。

（記：事務局 橋本）

「省エネ」を体感しませんか？

江田島にZEBゲストハウス「島韻(とういん)」誕生へ

江田島にZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）ゲストハウス「島韻」(とういん)が6月ごろオープンを迎えます。手がけたのは、(株)プレゼントデザインの川端氏（広島東支部）。「省エネ住宅の良さを体感してほしい」と、語ります。

ZEBとは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物のことです。このゲストハウスでは太陽光発電と組み合わせ、蓄電・発電で消費電力すべてを賄うことができる他、有事においても自給自足ができるように、水は井戸から引いています。

断熱性能にもこだわりの垣間見えます。UA値（住宅の断熱性能を示す指標）は、なんと0.19。北海道

など寒い地域にも対応が可能な数値です。特に寒い時期には温水式床暖房により、静かで暖かく、心地よい空間が広がります。



ZEBゲストハウス室内

建物に入ると、木の香りが鼻腔をくすぐります。広島県近郊の森林資源を活用するべく、梁には広島県産の杉を使用。床等には島根県産の木材を使用しています。玄関ドアは、環境に配慮したものづくりを大切にするユダ木工(株)（広島西支部）が製作しました。

「まずは木の香りを感じて、ゆっくり過ごしてほしいです」と、川端氏。過ごしやすく環境にやさしい、質の良い家づくりをめざし続けています。

（記：事務局 橋詰）

広報部より

広報部では、e.doyuのログイン率、例会への参加登録率などを毎月ご紹介しています。e.doyuと名簿アプリの活用率を高めるとともに、地区会の活性化につながれば幸いです。

e.doyuアクセス率Best15 (4月にe.doyuに一度以上アクセスした方の率)

順位	支部	地区会名	アクセス率
1	広島東	南②	85.9%
2	福山	F	84.4%
3	備北		82.9%
4	福山	S	80.0%
5	尾道		79.5%
6	広島東	南①	78.2%
7	呉	芸南	77.5%
8	広島東	南④	77.4%
9	広島東	東	76.9%
10	福山	K	75.7%
11	呉	呉南	74.36%
11	三原		73.86%
13	福山	P	73.2%
14	広島東	安芸	70.9%
15	福山	D	70.3%
県平均			68.1%

例会出欠登録率Best15 (4月中に自地区会(支部)の例会に自分e.doyuから出欠登録した方の率)

順位	支部	地区会名	出席登録率
1	東広島	東広島東	97.7%
2	広島東	南②	94.9%
3	福山	F	84.4%
4	広島東	南①	83.1%
5	東広島	東広島西	80.7%
6	広島東	南④	76.4%
7	呉	芸南	75.0%
8	福山	P	73.17%
9	福山	S	72.31%
10	備北		71.4%
11	福山	I	66.7%
12	呉	呉南	65.4%
13	呉	広北	64.3%
14	広島東	東	63.0%
15	福山	D	60.9%
県平均			60.0%

入会率Best15 (2025年度の入会者数/期首会員数)

順位	支部	地区会名	入会率
1	福山	A	5.0%
2	呉	呉南	3.9%
3	福山	P	3.8%
4	福山	B	3.5%
5	東広島	東広島東	3.3%
6	福山	G	3.3%
7	広島西	西	2.8%
8	広島中	中⑨	2.3%
9	広島東	安芸	1.76%
10	広島北	安佐北	1.70%
11	広島東	南④	1.4%
12	広島東	南①	1.2%
13	広島東	南③	0.8%
県平均			1.0%

名簿アプリダウンロード率Best15 (5/1現在)

順位	支部	地区会名	DL率
1	広島東	南②	100.0%
2	広島東	南③	88.3%
3	広島東	東	88.0%
4	広島東	南①	87.9%
5	広島東	南④	86.8%
6	尾道		86.6%
7	福山	K	86.5%
8	広島東	安芸	86.0%
9	福山	I	83.3%
10	広島中	中①	79.3%
11	広島西	佐伯	75.0%
12	呉	広東	74.3%
13	福山	G	73.9%
13	福山	J	73.3%
15	福山	B	71.5%
県平均			72.1%

※2025年度より「出席」登録から「出欠」登録に集計を変更。